

2025年度 授業コード: SDJ05500

授業科目	*地域活動の基礎				実務家教員担当科目	-			
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	高野 基子/Kristen Maree Sullivan								
授業概要	<p>本講義では、本学での学びの重要な柱である「地域総キャンパス」と自身の4年間の大学での学びの関係性を理解し、地域で学び、活動するための適切な理解、正しい姿勢や意欲、基礎的な知識やスキルを修得することを目的とします。</p> <p>皆さんの本学での学びは地域の様々な方に支えられ、地域によって可能となります。また、在学中や卒業後、皆さんは様々な形で様々な地域と関わり、広く社会に貢献することが期待されています。本講義では、まず、本学が所在している北九州を活動のフィールドとして捉え、北九州について理解を深め、地域に貢献するための基礎を身につけます。本講義の受講をきっかけに、自身の学びがどのように地域と関係しているか、今後の学習において地域とどう関わっていきたいかについて意識し、具体的なイメージを描き始めてほしいと思います。また他学科の学生との共同作業により互いに新たな知見を得て、共に学ぶ仲間との絆を紡いでいきましょう。</p>								
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域への愛着と誇りを持ち、地域社会の一員としての自覚を持っている。 2. 地域活動の意義や役割、歴史的背景、現状と課題などについて理解している。 3. 社会活動に必要な基本的なマナーが身についている。 								
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に地域活動を考え、地域社会に貢献しようとする意欲を持っている。 2. 地域活動の意義や役割、歴史的背景、現状と課題などについて自分のことばで説明することができる。 3. 社会活動に必要な基本的なマナーが身につけており、多様な価値観を尊重しながら良好なコミュニケーションが取れる。 								
評価方法・評価割合									
評価方法		評価割合 (数値)			備考				
試験									
小テスト									
レポート		80			授業後レポート (4回、1回につき20点)				
発表 (口頭、プレゼンテーション)									
レポート外の提出物									
その他		20			授業内でのグループワークやプレゼンテーションなどへの貢献姿勢				
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング									
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題 (予習・復習)								1回の目安時間 (時間)	
プレゼンテーションへの準備								4	

授業後レポートに取り組むこと	
授業計画	
第1回	<p>オリエンテーション 「地域総キャンパス」についての解説（教務課長）</p> <p>授業の目的と概要の説明 1回目のグループ分けとアイスブレイク 本授業で使う G Suite の機能の使い方</p>
第2回	<p>北九州を知る① 北九州の特性や特徴を確認する目的で、グループで担当するエリアの基本情報について調べ、次週の発表に備えます。</p>
第3回	<p>北九州を知る② 各エリア（門司区、小倉北区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区、北九州市全体、福岡県）の発表を通して北九州への理解を深めます。 また、発表から見てくる北九州の魅力や課題についてディスカッションをします。</p>
第4回	<p>地域をけん引する企業や団体を知る① 北九州をけん引する企業や団体について知識を深める目的で、グループで担当する企業・団体について調べ、次週の発表に備えます。各企業・団体が行っている事業の背景についても考えましょう。 このグループワークは後期の「地域と大学」で外部講師として招く方々の所属する企業・団体についての事前学習を兼ねます。 2回目のグループ分けとアイスブレイク</p>
第5回	<p>地域をけん引する企業や団体を知る② 各グループの発表を通して北九州をけん引する企業や団体について知識を深めます。各企業・団体が行っている事業の背景についても確認しましょう。 インターネットから得られる情報には限界があります。後期の「地域と大学」で直接外部講師の方々に聞きたいことについても考えましょう。</p>
第6回	<p>マナーとコミュニケーション① 学生同士や、地域の方々と接するときに必要な基本的なマナーについて学び、相手を尊重しながら協働していく姿勢を身につけましょう。</p>
第7回	<p>マナーとコミュニケーション② これからの学生生活や地域活動を行っていく中で、良好なコミュニケーションが関係構築の土台となります。この授業では、ポジティブコミュニケーションとアクティブリスニングを中心にコミュニケーションの重要性と手法について学んでいきます。</p>
第8回	<p>まとめ 自分自身が在学中および卒業後にどのように地域とつながり社会に貢献したいか、グループで各自の行動宣言をします。 本学が提供する地域活動に関わる機会や地域活動に関する情報を得る方法について各関係部署から紹介します。 後期の「地域と大学」について</p>
テキスト	特に指定しない。グーグルクラスルームを用いて資料を共有する。

参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	授業内で適宜紹介する。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	授業後レポートやプレゼンテーションについてのフィードバックは授業内で口頭で行います。
学生への メッセー ジ・コメ ント	この授業では調べものや発表をする機会がたくさんあります。スマホ以外のデバイスを持参することを推奨します。